

設計課題 「地域住民が交流できるカフェを併設する二世帯住宅〔鉄筋コンクリート造(ラーメン構造)3階建て〕

1. 設計条件

- ある地方都市の住宅街において、カフェを併設する二世帯住宅を計画する。カフェ部分は、住宅に住む親夫婦が貸店舗として貸し出すものとする。計画に当たっては、次の①～④に特に留意する。
- ①カフェの客用出入口への主たるアプローチは南側道路とし、住宅部分への主たるアプローチは北側道路とする。
- ②カフェ部分には、地域住民が集まってワークショップやミーティング等を行うための「レンタルスペース」を設ける。
- ③レンタルスペースまたは、カフェの客席のいずれかに隣接して「屋外テラス」を設ける。
- ④建築物の耐震性を確保する。

- (1) 敷地
- ア. 形状、道路との関係、方位等は、下図のとおりである。
 - イ. 第一種住居地域内にあり、防火及び準防火地域の指定はない。
 - ウ. 建ぺい率の限度は60%、容積率の限度は200%である。
 - エ. 地形は平坦で、道路及び隣地との高低差はなく、地盤は良好である。
 - オ. 電気、都市ガス、上水道及び公共下水道は完備している。
- (2) 構造、階数、建築物の高さ等
- ア. 鉄筋コンクリート造(ラーメン構造)3階建とする。
 - イ. 建築物の最高の高さは10m以下、かつ、軒の高さは9m以下とする。
 - ウ. 塔屋(ペントハウス)は設けないものとする。
- (3) 延べ面積
- ア. 必ず「250㎡以上、300㎡以下」とする。
 - イ. 住宅部分の床面積の合計は、必ず「200㎡以下」とする。
 - ウ. 床面積については、ピロティ、バルコニー、玄関ポーチ、屋外テラス、駐車スペース、駐輪スペース等は算入しないものとする。また、エレベーターシャフトについても、床面積に算入しないものとする。
- (4) 人員構成等
- ア. 住宅部分
 - 親世帯：親夫婦(60歳代)
 - 子世帯：夫婦(40歳代)、子供2人(男子小学生、女子小学生)
 - イ. カフェ部分では、カフェ店員2名が就業する。
- (5) 要求室等
- 下表の全ての室等は、必ず指定された設置階に計画する。

| 部門 | 設置階 | 室名等 | 特記事項 | 床面積 | |
|-------|---|----------|---|-------|---|
| カフェ部分 | 1階 | 客席 | ア. カウンター席及びテーブル席を、計15席以上設ける。 イ. レジスターを設ける。 | 適宜 | |
| | | 厨房 | | | |
| | | パントリー | ・カフェで使う食品を保管する。 | | |
| | | 更衣室 | ア. 休憩室を兼ねる。 イ. 2名分のロッカーを設ける。 | 15㎡以上 | |
| | | レンタルスペース | ア. 6人掛けテーブル席を2つ設ける。 イ. 客席と仕切るため、可動間仕切りを設ける。 | | |
| | | 倉庫 | ・レンタルスペースから直接使用できるようにする。 | | |
| | | キッズスペース | ア. レンタルスペースを使用中に幼児が遊べるスペースとし、一部に絵本棚を設ける。 イ. レンタルスペースに近接して設ける。 ウ. 履物を脱いで使用する。 | | |
| 多目的便所 | ア. 広さは、心々2,000mm×2,000mm以上とする。 イ. 出入口は引戸とし、幅の内法は、800mm以上とする。 | 4㎡以上 | | | |
| 住宅部分 | 1階 | 玄関ホール | ア. 親世帯と子世帯の共用とする。 イ. 下足入れを設ける。 ウ. 住宅用エレベーター及び階段の使用に当たっては、履物を履き替えるものとする。 | 適宜 | |
| | | 居間 | ア. 1室または2室にまとめてよい。 イ. 食事室には、テーブル及び椅子(計6席)を設ける。 ウ. 居間には、家族全員が歓談できるようにソファ(計6席)を設ける。 | 適宜 | |
| | | 食事室 | | | |
| | 2階 | 台所 | ア. 洋室とし、ベッド(計2台)を設ける。 イ. ウォークインクローゼット(4㎡以上)を設ける。 | 12㎡以上 | |
| | | 親夫婦寝室 | | | |
| | | 洗面脱衣室 | | | 適宜 |
| | | 浴室 | | | |
| | 3階 | 便所(A) | ア. 洋室とし、ベッド(計2台)を設ける。 イ. ウォークインクローゼット(4㎡以上)を設ける。 ウ. 夫婦寝室から直接使えるようにする。 | 適宜 | |
| | | 納戸(A) | | | |
| | | 夫婦寝室 | | | |
| | | 書斎 | | | |
| | | 子ども室 | | | ア. 洋室とし、ベッド(計2台)、机、収納を設ける。 イ. 可動間仕切りにより2室に分割し、それぞれ独立して使用できるように出入口を2つ設ける。 |
| | | 洗面室 | | | |
| | 便所(B) | | | | |
| | 納戸(B) | | | | |

(注1)住宅部分においては、1階、2階及び3階は、階段の他に住宅用エレベーター(1基)で連絡する。
(注2)防火区画については、考慮しなくてよい。
(注3)店舗(カフェ)部分においては、キッズスペースを除き、全て下足とする。

- (6) エレベーター
- ア. 建築物内に、必ず住宅用エレベーター1基を設ける。
 - イ. エレベーターシャフトは、心々1,500mm×1,500mm以上とする。
 - ウ. 駆動装置は、エレベーターシャフト内に納まるものとし、機械室は設けなくてよい。
 - エ. 出入口の幅の内法は、800mm以上とする。

(7) 屋外施設

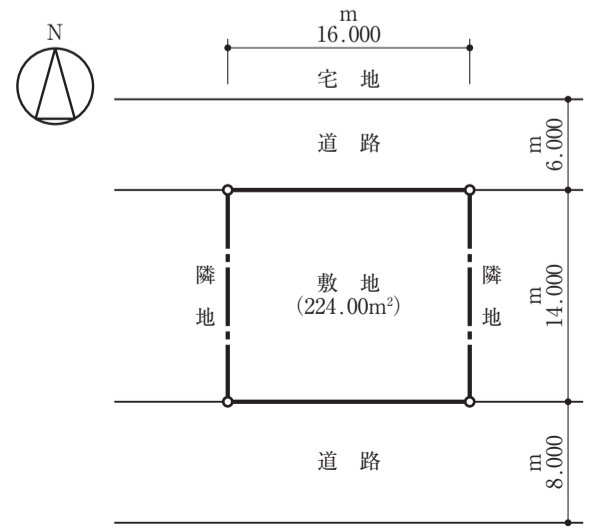
屋外に下表のものを計画する。

| | |
|--------|---|
| 屋外テラス | ア. 15㎡以上とし、まとまったスペース(少なくとも、直径2m以上の円が1つ入るスペース)とする。 イ. テーブル及び椅子(計12席以上)を設ける。 |
| 屋外スロープ | ア. カフェ部分のアプローチに高低差が生じる場合は、屋外スロープを設ける。 イ. 勾配は1/15以下、有効幅員は1,200mm以上とする。 |
| 駐車スペース | ・乗用車2台分(カフェ従業員用1台、住宅用1台)を設ける。 |
| 駐輪スペース | ・自転車7台分(カフェ用4台、住宅用3台)を設ける。 |

2. 要求図書

- a. 下表により、答案用紙の定められた枠内に記入する(寸法線は、枠外にはみだして記入してもよい)。
- b. 図面は黒鉛筆仕上げとする(定規を用いなくてもよい)。
- c. 記入寸法の単位は、mmとする。なお、答案用紙の1目盛は、5mm(部分詳細図にあっては、10mm)である。
- d. シックハウス対策のための機械換気設備等は、記入しなくてよいものとする。

| 要求図書 ()内は縮尺 | 特記事項 |
|-----------------------|--|
| (1) 1階平面図兼配置図 (1/100) | ア. 1階平面図兼配置図、2階平面図及び3階平面図には、次のものを記入する。 ・建築物の主要な寸法 ・室名等 ・断面図の切断位置及び方向 |
| (2) 2階平面図 (1/100) | イ. 1階平面図兼配置図には、次のものを記入する。 ・敷地境界線と建築物との距離 ・道路から建築物へのアプローチ、屋外スロープ(高低差が生じる場合)、駐車スペース、駐輪スペース、門、塀、植栽等 ・道路から敷地及び建築物への出入口には、▲印を付ける。 ・部分詳細図(断面)の切断位置及び方向 ・屋外テラス…直径2m以上の円(破線にて明記する。)、テーブル、椅子 ・客席…カウンター、テーブル、椅子、レジスター ・厨房…厨房設備機器(流し台・調理台・コンロ台、冷蔵庫等)、手洗い器 ・更衣室…ロッカー ・レンタルスペース…テーブル、椅子、可動間仕切り(破線にて明記する。) |
| (3) 3階平面図 (1/100) | ・キッズスペース…絵本棚 ・多目的便所…洋式便器、手摺、手洗い器 ・住宅部分の玄関ホール…下足入れ ウ. 2階平面図には、次のものを記入する。 ・居間…ソファ ・食事室…テーブル、椅子 ・台所…台所設備機器(流し台・調理台・コンロ台・冷蔵庫等) ・親夫婦寝室…ベッド ・洗面脱衣室…洗面台、洗濯機 ・浴室…浴槽 ・便所(A)…洋式便器、手洗い器、手摺 エ. 3階平面図には、次のものを記入する。 ・2階の屋根伏図(2階の屋根がある場合) ・夫婦寝室…ベッド ・書斎…書棚、机、椅子 ・子ども室…ベッド、机、2室に分割した場合の可動間仕切り(破線にて明記する。) ・洗面室…洗面台、洗濯機 ・便所(B)…洋式便器 |
| (4) 立面図 (1/100) | ア. 南側立面図とする。 イ. 建築物の最高の高さを記入する。 |
| (5) 断面図 (1/100) | ア. 切断位置は、1階の客席及び2階・3階を含む部分とする。 イ. 建築物の外形、床面及び天井面の形状がわかる程度のものとし、構造部材(梁、スラブ等)を記入する(地中梁、基礎等は記入しなくてよい)。 ウ. 建築物の最高の高さ、軒高、階高、天井高、1階床高、開口部の内法寸法及び主要な室名等を記入する。 エ. 見え掛かりの開口部、階段等(室の対向面に見えるものは記入しなくてよい)。 |
| (6) 部分詳細図 (1/20) | ア. 切断位置は、外壁を含む部分とする。 イ. 作図の範囲は、基礎及び床の部分(床の仕上面からの高さ200mm以上)とし、外壁の柱心から1,000mm以上とする。 ウ. 主要部の寸法等を記入する。 エ. 主要部材(基礎、床スラブ、外壁等)の名称・断面寸法を記入する。 オ. 外気に接する部分(外壁、床、その他必要と思われる部分)の断熱・防湿措置を記入する。 カ. 主要な部位(外壁、内壁、床)の仕上材料名を記入する。 |
| (7) 面積表 | ア. 建築面積、床面積、住宅部分の床面積の合計及び延べ面積を記入する。 イ. 建築面積、床面積及び住宅部分の床面積については、計算式も記入する。 ウ. 面積の数値は、小数点以下第2位までとし、第3位以下は切り捨てる。 |
| (8) 主要構造部材表 | ア. 主要な1階の柱並びに2階床大梁及び3階床大梁の断面寸法を記入する。 イ. 主要な外壁並びに2階床スラブ及び3階床スラブの厚さを記入する。 |
| (9) 計画の要点等 | ・建築物及び敷地の計画に関する次の①～③について、具体的に記述する。 ①建築物の配置計画について、工夫した点 ②客席及びレンタルスペースの計画について、工夫した点 ③住宅部分の計画について、工夫した点 |



敷地図 (縮尺: 1/500)